

令和2年度

No 1 5月26日

松 籟



発行者

穴水秀人

令和2年度がスタートしました

5月24日（日）の第31回入学式及び25日（月）の新任式、始業式を終え、本格的に令和2年度の学校教育がスタートしました。この日が来ることを、誰もが待ち望んでいたことでしょう。しかし、今年度は、当面、例年通りとはいきません。新型コロナウイルス感染が収束しきっていないことを考えると、「新しい生活様式」を意識しながら生活しなければなりません。とは言うものの、本来、学校というところは、お互いに寄り添って肩を組みながら、向き合っ膝を突き合わせながら教育を営むところであります。新型コロナウイルス対策には、十分に配慮しながらも、八田中学校の特色を生かした教育を大切にしていきたいと思ひます。

さて、入学式及び始業式で生徒たちに伝えた挨拶の概要を以下に記します。保護者の皆様におかれましても、ご一読いただけると幸いです。

<入学式の式辞にて>

入学にあたり、皆さんにお願いしたいことは、「自分の個性を磨いてほしい。」ということです。～中略～ 新型コロナに関わる一連の自粛生活において、日常生活の中で、いかにたくさんの人と関わりを持っているかということを感じました。どんな人にも素晴らしい個性があります。しかし、その個性も磨かなければ光りません。人は、人と関わることで個性が磨かれるのです。自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解したりすることで、たくさんの面が磨かれ、1人の人間としての輝きを増していくのです。多くの経験から、新しい自分を磨き上げてほしいと思ひます。

<始業式のあいさつにて>

やっと令和2年度の八田中学校がスタートしました。新型コロナへの対応が気になるころですが、誰もが「大変な時」と言ひます。「大変」とは、大きく変わると書きます。つまり、この機会をプラスに変えるのかマイナスに変えるのかは、皆さんの心がけ次第です。新しい生活様式のもと、3密、マスク着用、うがいや手洗ひなど、自分自身できちんと判断し、適切に行動することが大切です。その上で、皆さんとともに、八田中学校ならではの活動を充実させていきたいと思ひます。

改めまして、本校の教育活動に深いご理解と力強いご支援・ご協力を賜りますよう、1年間よろしくお願ひします。

～表題の「松籟(しょうらい)」ってどんな意味？～

松林を渡り抜ける風の音です。それは、「ヒュー」と尾を引くような、強烈な余韻を持つ音のようです。一心不乱に余計なことを何も考えず、ただ目標をクリアしようと打ち込んでいる時に体感する音が、「松籟」に似ているとも言われます。